

布師田コミュニティ計画

思いやりのゆきかう里

布 師 田



平成17年4月

布師田コミュニティ計画策定市民会議

高 知 市

布師田コミュニティ計画策定にあたって

高知市では平成6年から市民の皆さんとともに地区ごとのコミュニティ計画策定を進めてまいりました。これまでに25地区で計画策定を終え、このたび布師田地区で新たに計画が策定されました。1年以上の長きにわたってご努力をいただいた布師田コミュニティ計画策定市民会議会員の皆さんを始め、布師田地区の皆さんに心から感謝申し上げます。

この計画は、布師田コミュニティ計画策定市民会議よりご提案いただいた94項目について、関係各課で一つ一つ実現の可能性を検討し、現時点における行政の考え方をまとめたものです。行政計画として位置づけられ、今後の各種事業の推進、次期総合計画や実施計画への反映等により、具体化に向けて取り組んでまいりたいと考えています。

検討の結果、実現までに相当の期間を要するものや、現時点では困難とされたものについても、課題を明らかにしながら引き続き市民・行政の協働による検討を行ってまいります。

本市においてはこれまでも公園整備におけるワークショップ等、市民の方が事業の推進に参画する機会を設けてきました。平成15年4月には「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」が制定されており、まちづくりへの市民参加の機会拡大と内容の充実にいっそう積極的に取り組んでいかなければならないと思っています。

計画の実現は市民と行政の協働を抜きに語ることはできないものです。この冊子をご高覧いただき、多くの方がまちづくりに参加されますことを心からお願いいたします。

平成17年4月

高知市長 岡崎 誠也

はじめに

1 コミュニティ計画とは

高知市のコミュニティ計画は、概ね小学校区を単位に策定されており、布師田が26地区目にあたります。

コミュニティ計画は、前総合計画である「高知市総合計画－1990－」によって策定が位置付けられました。その後、平成15年4月に施行された「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」において、「市は、市民等とパートナーシップを築いて地域のまちづくりを進めるため、市民等の意見を反映してコミュニティ計画を策定、推進するものとする。」とされ、この条例に基づき、コミュニティ計画の策定が位置付けられました。

■高知市のコミュニティ計画取組経過

年 月	内 容
平成3年(1991)3月	高知市総合計画1990に、コミュニティ計画策定を位置付け
平成9年(1997)3月	上街地区など、21地区の計画策定
平成11年(1999)3月	大津地区など、4地区の計画策定
平成15年(2003)4月	高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例施行 (コミュニティ計画が条例に位置付けられる)
平成17年(2005)4月	布師田地区において、コミュニティ計画を策定(26地区目)

2 布師田コミュニティ計画策定経過

布師田のコミュニティ計画は、条例制定後初の計画として、平成15年5月から策定作業が開始されました。策定にあたっては、布師田住民をメンバーとする「布師田コミュニティ計画策定市民会議」が結成されました。この会議では、約1年間かけて調査・検討を行い、平成16年8月、市長に「布師田コミュニティ計画(案)」を提案しました。

この「布師田コミュニティ計画(案)」を元に、庁内で市民と行政との協働の観点から、各項目の実現可能性について検討を行い、行政計画としての布師田コミュニティ計画を策定しました。

■布師田コミュニティ計画策定経過

年 月	内 容
平成 15 年(2003) 5 月	布師田コミュニティ計画策定市民会議が発足し、住民提案である「布師田コミュニティ計画(案)」づくりを開始
平成 16 年(2004) 8 月	布師田コミュニティ計画策定市民会議が、「布師田コミュニティ計画(案)」を市長に提案
平成 16 年(2004) 月 9 月～	提案された「布師田コミュニティ計画(案)」を元に、副部長級で構成する「コミュニティ計画策定幹事会」及び助役、部局長で構成する「コミュニティ計画策定委員会」において、実現可能性について検討
平成 17 年(2005) 4 月	布師田コミュニティ計画を策定

3 布師田コミュニティ計画について

■計画の体系

原則的に、住民提案された「布師田コミュニティ計画(案)」の体系としています。

■事業の分類について

内容により、次の 3 種類に分類されています。

- 市が主体となる事業
- 住民との協働で実施する事業
- 他機関に要望する事業

■実施時期等について

対応時期により、次の 3 種類に分類されています。

- 実施中：現在実施しているもの
- 短 期：平成 19 年度までに着手・検討が可能なもの
- 中長期：平成 20 年度以降の対応となるもの

目 次

布師田コミュニティ計画

はじめに	1
I 布師田の概要	3
II まちづくりの目標と3つのテーマ	5
III 布師田コミュニティ計画の体系	6
IV 布師田コミュニティ計画各論	7
1 災害に強く住みよいまち	
2 子どもから大人までいきいきと暮らせるまち	
3 歴史と自然を大切にするまち	

資料（1）回答一覧

布師田コミュニティ計画策定市民会議から提案された具体方策への回答一覧	19
------------------------------------	----

資料（2）布師田コミュニティ計画策定市民会議からの提案

思いやりのゆきかう里・布師田 布師田コミュニティ計画(案)	47
ごあいさつ	51
1 地区の現況	52
■地勢 ■歴史 ■少子高齢化の状況 ■地域交流の状況	
2 まちづくりの現状と課題	55
(1) 生活基盤について	
(2) 地域福祉について	
(3) 環境について	
3 まちづくりの目標と取組	62
■具体的取組と役割分担 ■住民主体事業の実施計画例	
4 現地の状況	70
■コミュニティ計画マップ ■写真で見る現地の状況	
5 活動の記録	78
6 終わりに	79
布師田コミュニティ計画策定市民会議会則	80

I 布師田の概要

(1) 地区の状況

布師田は高知市の北東部に位置します。北部には山々が連なり、中心を2級河川国分川が流れ、その両岸には田園が広がる、自然に恵まれた土地です。地区の南部には東西にJR土讃線が走っています。

国分川の右岸には西谷、新屋敷、石淵、左岸には小山、下附、中芝、地藏堂、川原島の各地区があります。また昭和51年に高知刑務所が布師田に移転し、宮ノ北に職員住宅が建設されたことにより、計9つの集落により成り立っています。

歴史は古く、弥生時代にさかのぼって近代までの遺跡が埋蔵文化財包蔵地に指定されています。高知市布師田ふれあいセンターの北側にある布師田金山城跡は戦国時代の山城で、掘切や土塁等の山城特有の防御施設を見ることができます。また近代にはいと、参勤交代の道が布師田を通り、藩主が江戸へ上る際、最初に宿泊または休憩する土地となります。石淵の西の端には公用の書状や人馬を検査する「送り番所」が置かれ、街道筋は賑わいを見せるようになりました。

明治22年に市町村制のもと布師田村となり、同24年には布師田小学校が開校、昭和17年に高知市に合併しました。昭和27年には国鉄土讃本線布師田駅が設置され、昭和62年には高知機械工業団地が操業を開始しました。

県下を襲った平成10年の集中豪雨は、布師田にも大きな被害をもたらし、国分川激甚災害対策特別緊急事業が採択されました。この工事は平成16年度末に完了し、いっそう安全な治水対策がとられるようになりました。

平成14年には、石淵地区に四国旅客鉄道(株)高知運転所車両基地が開業しました。さらに現在も地区を東西に横断する国道195号バイパス(通称あけぼの街道)の工事が進められており、これが開通すると、地区全体に大きな影響を与えることとされます。

I 布師田の概要

(2) 人口及び世帯の状況

・人口の推移

昭和 55 年から地区の人口は微増していますが、大きな変化は見られません

単位：人

	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	増減 H12-S55	比率 H12/S55
布師田	2,015	2,278	2,161	1,989	2,151	136	106.7%
市全体	300,822	312,241	317,069	321,999	330,654	29,832	109.9%

・少子高齢化の状況

年少人口比率は昭和 55 年に比べてポイントが半減した一方、高齢化率は倍増しています。全体に少子高齢化の進む本市のなかでも、特にその傾向が顕著な地域となっています。

	昭和 55 年				平成 12 年			
	年少人口	高齢者 人口	年少人口 比率	高齢化率	年少人口	高齢者 人口	年少人口 比率	高齢化率
布師田	425	194	21.1%	9.6%	231	411	10.7%	19.1%
市全体	67,137	28,903	22.3%	9.6%	47,335	60,130	14.3%	18.2%

※年少は 15 歳未満、高齢者は 65 歳以上

・世帯の状況

世帯人員は減少傾向にあるとはいえ、市全体の中では多いほうです。核家族化の進行が緩やかであることと、他地区に比較して賃貸住宅が少ないため単身で転入する人が少ないことが原因ではないかと思われます。

	昭和 55 年		平成 12 年		H12/S55
	世帯数	世帯人員	世帯数	世帯人員	
布師田	519	3.88	654	3.28	126.0%
市全体	108,346	2.78	139,997	2.36	129.2%

Ⅱ まちづくりの目標と3つのテーマ

まちづくりの目標 思いやりのゆきかう里・布師田

1 災害に強く住みよいまち

現在、布師田では、国道195号バイパス（以下、あけぼの街道という）の工事が進められており、この道路が開通すると市内外からの布師田へのアクセスは飛躍的に良くなると考えられます。

災害対策については、近い将来かならず発生するといわれている南海地震対策について、住民と行政が一体となった取組を、今後進めなければなりません。

2 子どもから大人までいきいきと暮らせるまち

住みよい地域とは、子どもから大人まで、安心して、いきいきと暮らせる地域であると考えます。布師田は、平成14～16年度の間、「地域福祉活動推進モデル地区」に指定されるなど、地域福祉活動に積極的に取り組まれています。

今後とも、「子どもから大人までいきいきと暮らせるまち・布師田」をめざして、地域の皆さんとともに、取組を進めていきたいと考えています。

3 歴史と自然を大切にするまち

北部に連なる山並み、国分川の清流、そして田園風景の広がる里。布師田は高知市内にありながら豊富な自然を残している地域です。また参勤交代の街道沿いであったことから、古くから独特の賑わいを見せてきました。布師田ならではの良さをしっかりととらえ、次代に引き継いで行きたいと思えます。

Ⅲ 布師田コミュニティ計画の体系

テーマ	基本方針	改善策
1 災害に強く住みよいまち	(1) 布師田が今後とも活力のある地域であるために	① 地域活力の維持・向上 (年少人口を増やす) ② 利用しやすい布師田駅
	(2) 生活関連施設等整備	① 生活排水処理施設の普及 ② 救急車が通れる道づくり ③ 歩道の設置 ④ 道路標識等の改善 ⑤ 道路照明の設置
	(3) 災害に強い布師田に	① 南海地震対策 ② 浸水対策 ③ 地割れ調査・対策
	(4) 安全・安心な布師田に	① 防犯対策 ② 自転車のマナー改善 ③ 速度制限
2 子どもから大人までいきいきと暮らせるまち	(1) 高齢者・障害者の住みよいまち	① 地区内施設・人材の活用 (既存の「場」を活用する) ② 外出しやすくなるような企画や催しを行う
	(2) 地域ぐるみの子育てができるまち	① 各取組継続実施 ② 新しい取組の実施
	(3) 子どもが楽しく安全に遊べるまち	① 子どもが安全に遊べる場所をつくる ② 児童・青少年の健全育成
	(4) 子どもから高齢者まで自然に交流できるまち	① 各取組の継続実施
3 歴史と自然を大切にすまち	(1) 里山としての北山を復活させる	① 大人も子どもも行きたくなるような山にする ② 複数の地区にまたがる北山を一体のものとして考える
	(2) 国分川に清流を取り戻す	① 浦戸湾に流入する河川をトータルに捉え、水質向上をめざす ② 上流からの排水の水質を改善しゴミの投棄を防ぐ ③ 事業所からの排水改善 ④ 家庭排水の水質向上に取り組む ⑤ 堤防の景観を向上させる ⑥ 水に親しむ事業
	(3) 里の景観を守る	① ホテルが住める環境を取り戻す ② 樹木の保存と植樹 ③ いまある町並みの美しさを認識する
	(4) 史跡を保存し、子どもたちに伝えていく	① 史跡を保存する ② 史跡に親しむ ③ 金山城跡の整備

IV 布師田コミュニティ計画各論

■事業の分類について

○市が主体となる事業

市が主体的に対応又は、検討するものです。

○住民との協働で実施する事業

住民との協働の観点で進める事業又は、住民が実施する取組に、市としての支援が可能な事業です。

○他機関に要望する事業

他機関へ要望を行うものです。

■改善策について

○一部の項目を除き、「布師田コミュニティ計画(案)」で提案された項目名称としていません。

○名称が変更されたものは次の2項目で、項目名称の後に括弧書きで「コミュニティ計画(案)」の項目名称を記入しています。

1－(1)－①地域活力の維持・向上(年少人口を増やす)

2－(1)－①地域内施設・人材の活用(既存の「場」を活用する)

■実施時期について

○実施中：現在実施しているもの

○短期：平成19年度までに着手・検討が可能なもの

○中長期：平成20年度以降の対応となるもの

■計画(案)番号について

○「布師田コミュニティ計画(案)」の具体的方策の番号です。

○実施内容に関連する「布師田コミュニティ計画(案)」の具体的方策の番号を記入しています。

1 災害に強く住みよいまち

(1) 布師田が今後とも活力ある地域であるために

現在、布師田において、あけぼの街道の工事が進んでいます。あけぼの街道開通後の布師田の将来像については、住民の皆さんも関心があることと思います。

地域には、さまざまな課題があると思いますが、コミュニティ計画づくりを契機として、今後とも住民の皆さんとともに地域の将来像について考え、活力ある住みよいまちを実現していきたいと思っています。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①地域活力の維持・向上 (年少人口を増やす)	コミュニティ計画推進市民会議において、地域の将来像の話し合いを持つ際に、必要な情報提供等を行う	短期	2

■他機関に要望する事業

改善策	実施内容	要望先	計画(案)番号
②利用しやすい布師田駅	布師田駅への公衆電話の設置を要望	JR 四国 NTT 西日本	4
	布師田駅への駐車場の設置を要望	JR 四国	5

(2) 生活関連施設等整備

布師田の生活道は、道路幅が狭いため、車の行き違いが困難な場所があります。すべての道路の幅員を広げることは困難ですが、水路等の一部を利用して待避所を設け、車輛の行き違いを可能にするなどの方法について検討いたします。このことについては今後、地域の皆さんのご意見をいただきながら、進めていきたいと考えています。

生活排水処理については、石淵地区の市街化区域内において、公共下水道の事業認可がされています。その他の地域については、各家庭への小型合併処理浄化槽の設置に効果があると考えます。道路標識等の改善については、可能な場所の対応をするとともに、関係機関にも要望します。

■市が主体となる事業

改善策	実施内容	実施 時期	計画（案） 番号
①生活排水処理施設の普及	石湍地区内（市街化区域）公共下水道の整備	中長期	6
	小型合併処理浄化槽補助制度を継続	実施中	7, 80
②救急車が通れる道づくり	国分川南岸地域の生活道への待避所設置を検討	短期	8
③歩道の設置	市道大津1号線の改良に伴う橋の架け替えの際、錦功橋へ歩道を設置	中長期	9
	既存水路の活用等による通学路への歩道設置を検討	短期	11
④道路標識等の改善	ふれあいセンター前へのカーブミラー設置等を検討	短期	12
	西谷団地入口のカーブミラーの位置を改善	実施中	13
	市道大津1号線改良の際、石湍西の辻の見通しを改善	中長期	14
⑤道路照明の設置	葛木橋の中央に道路照明設置を検討	短期	18

■他機関に要望する事業

改善策	実施内容	要望先	計画（案） 番号
③歩道の設置	地蔵堂北側県道への歩道設置を要望	県	10
④道路標識等の改善	地蔵堂カーブミラーの移設等を要望	県	15
	地蔵堂バス停付近一時停止場所の変更を要望	県警	16
	下附の信号の運用方法変更を要望（点滅を通常に）	県警	17
⑤道路照明の設置	国分川堤防道路（県道）に道路照明の設置を要望	県	19

IV コミュニティ計画各論

(3) 災害につよい布師田に

国分川河川激甚災害対策特別緊急事業（以下、国分川激特事業という。）による河川改修については、平成16年度末に終了しました。

次の南海地震対策については、行政のみの取組では対応が困難で、住民と行政とが力を合わせて取り組む必要があります。現在、地域防災力の向上をめざして、自主防災組織の育成・強化に取り組んでいます。布師田においても今後、多くの地区で自主防災組織の結成がされることを期待しています。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画（案）番号
①南海地震対策	自主防災組織の全地域での結成に向けて支援	実施中	20
	自主防災組織の連合体が行う防災訓練等への支援	短期	21

■他機関が実施又は他機関に要望する事業

改善策	実施内容	要望先	計画（案）番号
②浸水対策	国分川激特事業による河川改修（平成16年度末終了）	県	23
	あけぼの街道の浸水対策（実施中）	県	24
③地割れの調査対策	布師田北側の山（通称：北山）の地割れの調査・対策・定期点検を要望	県	25, 26, 27

(4) 安全・安心な布師田に

安全・安心なまちづくりの実現のためには、日ごろから、お互いに声をかけあえるような関係にあることが大切です。また、問題が発生した際には、対処できる地域の体制づくりも必要です。布師田は市内でも、地域活動が活発であり、良好なコミュニティがつけられている地域です。

今後とも、安全・安心な布師田をめざして、地域のみなさんとともに、取り組んでいきたいと考えています。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施 時期	計画（案） 番号
①防犯対策	地域安全推進員の活動をコミュニティ計画推進 市民会議の機関紙で広報する	短期	29
②自転車のマナー改善	自転車のマナー改善に向けて、学校等での交通安 全教室の実施及び月例夜間指導等を通じ無灯火 への指導を継続	実施中	30, 31, 59

■他機関に要望する事業

改善策	実施内容	要望先	計画（案） 番号
①防犯対策	交番からの巡回強化を要望	県警	28
③速度制限	新屋敷地区内の速度制限を要望	県警	32
	川原島の堤防道路の速度制限を要望	県警	33

2 子どもから大人までいきいきと暮らせるまち

(1) 高齢者・障害者の住みよいまち

地域福祉の向上は、今後の地域社会のあり方を考えていく上で、非常に重要なテーマです。地域福祉活動は、地域の皆さんの支えあい、助け合いの中で活動が行われています。地域福祉活動を、今後とも支援します。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①地区内施設・人材の活用 (既存の「場」を活用する)	在宅介護支援センターの活動を通じて地域のネットワーク作りを支援する	実施中	36.41
	自治公民館の活動に対する助成制度の継続	実施中	37
	地域福祉活動における布師田ふれあいセンターの積極的な活用	実施中	40
	在宅介護支援センターの活動を通じて地域の各組織の連携強化を図る	実施中	42
②外出したくなるような企画や催しを行う	在宅介護支援センターの訪問活動等を通じてニーズを把握し住民に情報を提供する	短期	45
	地域ケア会議等の開催を通じ、日常的な支えあいの大切さを話し合う	実施中	46

■他機関に要望する事業

改善策	実施内容	要望先	計画(案)番号
①地区内施設・人材の活用 (既存の「場」を活用する)	JAに、里の家「ぬのしだ」の利用を要望	JA	39

(2) 地域ぐるみの子育てができるまち

地域の次代を担うのは、子どもたちです。子育ては、保護者とその家庭が第一義的に担うものですが、地域社会全体で、子どもたちを見守り、育てていくことが必要です。

布師田では、現在、多くの子育て支援活動が行われています。このような取り組みが地域全体に広がる活動となるよう支援します。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①各取組の継続的实施	協力してくれる人材発掘の一助として、主任児童委員や県こども・子育て応援団修了生等の人材を紹介する	短期	47
	市が発行する子育てに関する情報誌やコミュニティ計画推進活動の中で地域住民への周知・呼びかけを行う	短期	48, 52
	世代間交流ふれあい事業の継続	実施中	49
②新しい取組の実施	「高知市子ども未来プラン」策定の際に実施したアンケート結果を提供する	短期	53
	他都市の事例等の情報提供を行う	短期	54

(3) 子どもが楽しく安全に遊べるまち

旧布師田小学校跡地は、幅広い年齢層が交流するなかで子どもたちを見守っていただけるような「広場」としての用途が有効であると思われます。その内容、またどのように形作っていくかについても地域の皆さんにご提案いただき、協働で進めていきたいと考えています。また、住民の皆さんと協力し、地域の中で大人が子どもに声をかけ見守っていくというよい習慣がさらに発展するよう、あいさつニコニコ運動等の活動を継続していきます。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①子どもたちが安全に遊べる場所をつくる	旧布師田小学校跡地の有効利用を検討する(広場としての整備など)	中長期	56, 62
②児童・青少年の健全育成	高知市子ども会連合会や高知市青少年育成協議会の活動を支援する	実施中	57
	互いにあいさつする、あたたかいまちをめざして、高知市あいさつニコニコ運動を継続する	実施中	58

IV コミュニティ計画各論

(4) 子どもから高齢者まで自然に交流できるまち

核家族化が進み、隔たった世代のものが互いに交流する機会が急速に少なくなっており、その弊害がいろいろな形で出現しているといわれます。

布師田地区には老人クラブ、若衆会、子ども会などそれぞれの世代を代表する団体があり、活発に活動しているほか、各種ボランティア団体の活動も盛んです。これらの団体間を自由に往来できるような場を創出し、世代の別なく交流することが可能になれば、地域福祉全体の向上につながると思います。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①各取組の継続実施	コミュニティ計画推進市民会議の活動によって地域組織の連帯が強化するよう支援する	短期	60
	コミュニティ計画推進市民会議の機関紙で、地域の取組を紹介する	短期	61

3 歴史と自然を大切にすまち

(1) 里山としての北山を復活させる

布師田を懐に抱く北山は、身近にある貴重な里山であり、自然環境を学ぶ格好の場でもあります。しかし近年では山と生活のつながりが薄れ、人の手が入らないために、里山としては荒廃しつつあります。里山を復活させるためには、たくさん人が訪れるような場所にする必要があると同時に、子どもたちには自然を身近に感じるための道案内になるような教育も必要だと考えます。なお開発に際しては、環境面に配慮した十分な協議を行っていきます。

■市が主体となる事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
②複数地域にまたがる北山を一体のものとして考える	開発申請時に、自然及び歴史環境の観点からも検討し開発事業者に指導する	実施中	68

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①大人も子どもも行きたくなるような山にする	遊歩道の整備に際して道しるべの材料等を提供する	短期	66
	自然保護の啓発に取り組むボランティア団体を紹介する	短期	67

(2) 国分川に清流を取り戻す

川の汚濁は、多くの部分が家庭排水によるものです。また流域全体、さらには浦戸湾まで考えなければ河川の浄化をすることはできません。平成17年度から高知市生活排水対策推進計画を見直す作業にかかりますが、そのなかで汚濁の要因を精査してより有効な対策を立てるとともに、啓発活動のあり方も検討していきます。

IV コミュニティ計画各論

■市が主体となる事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①浦戸湾に流入する河川をトータルに捉え、水質向上を目指す	高知市生活排水対策推進計画の見直しの中で公共下水道等の整備計画を検討する	中長期	70
	水質測定等の出前授業や水棲生物観察会を開催する	実施中	71
②上流からの排水の水質を改善し、ゴミの投棄を防ぐ	南国市、土佐山田町などの流域の自治体と一体となって河川環境保全に取り組むための働きかけを行う	短期	72
③事業所からの排水改善	事業所排水に関して立入調査及び指導を行う	実施中	74

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
②上流からの排水の水質を改善し、ゴミの投棄を防ぐ	河川浄化に取り組むボランティア団体を紹介する	短期	73
④家庭排水の水質向上に取り組む	高知市生活排水対策推進計画の見直しのなかで効果的な啓発活動を検討する	短期	76
⑤堤防の景観を向上させる	地域での清掃活動について清掃用具を提供する	実施中	78
⑥水に親しむ事業	水質測定等の出前授業や水棲生物観察会を開催する	実施中	79

■他機関へ要望する事業

改善策	実施内容	要望先	計画(案)番号
⑤堤防の景観を向上させる	堤防への植樹	県	77

(3) 里の景観を守る

古い葦や螢の飛ぶ水路、大きな樹木。布師田の各集落には、こうした風景が多く残されています。これらの醸し出す雰囲気为一体となって作り出す落ち着いたたまたまは、いま求められる本当の暮らしの豊かさへと通じるものであり、今後ますますその重要性が見直されてくると思われます。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①ホタルが住める環境を取り戻す	ホタルの生態等に関する情報を提供するとともに、今後ホタルのいるところでの水路改修工事の際に工法を検討する	短期	81
②樹木の保存と植樹	地区内の樹木マップ等の作成を支援する	短期	82, 84
③いまある町並みの美しさを認識する	文化財調査に関する専門家を紹介する	短期	85, 86

(4) 史跡を保存し、子どもたちに伝えていく

布師田は、参勤交代の道に当たり、江戸へ出立する藩主の最初の宿泊地として歴史のある土地です。また中世には布師田金山城という山城もありました。こうした著名な史跡は文献として、また遺構として今に伝えられています。しかし形に残らないものは記憶の風化とともに忘れられていきます。先人の事績から地域の祭礼の変化まで、次代につながるよりよい形で保存し、総合的に記録して伝えていくことは、地元の取り組みとして大変重要です。行政としてもできるだけの支援をしていきます。

■住民との協働で実施する事業

改善策	実施内容	実施時期	計画(案)番号
①史跡を保存する	文化財の専門家の紹介や調査方法に対する助言を行うとともに、史跡マップの作成を支援する	短期	87, 88, 89
②史跡に親しむ	史跡めぐりに際して専門家を紹介する	短期	90
③金山城跡の整備	遺構の整備方法や説明板設置に際して専門家を派遣する	短期	93

IV コミュニティ計画各論

—布師田コミュニティ計画—
思いやりのゆきかう里・布師田

平成17（2005）年4月
布師田コミュニティ計画策定市民会議
高 知 市

印刷 筒井紙業印刷株式会社